

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : サッチューコート S
 農林水産省登録番号 : 第14372号
 会社名称 : 米澤化学株式会社
 住所 : 京都府京都市南区唐橋芦辺町14番地
 担当部門 : 品質管理部
 電話番号 : 075-681-9526
 FAX番号 : 075-681-7377
 整理番号 : 056
 推奨用途及び使用上の制限 : 農薬(殺虫剤)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

【物理化学的危険性】

引火性液体 区分3

【健康に対する有害性】

急性毒性(経口): ラット 区分4
 急性毒性(経皮): ラット 区分に該当しない
 皮膚腐食性/刺激性 区分2
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A
 皮膚感作性 区分に該当しない
 生殖細胞変異原性 分類できない
 発がん性 区分2
 生殖毒性 区分1A
 特定標的臓器・全身毒性
 単回暴露 区分1(中枢神経系、呼吸器系、腎臓、肝臓)
 区分3(気道刺激性、麻酔作用)
 反復暴露 区分1(中枢神経系、呼吸器系、腎臓、肝臓)
 区分2(皮膚、血液)

【環境に対する有害性】

水生環境有害性 短期(急性): コイ 区分3
 水生環境有害性 短期(急性): 甲殻類 区分1
 水生環境有害性 短期(急性): 藻類 区分2

※記載のないものは「区分に該当しない」または「分類できない」

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語 : 危険

- 危険有害性情報 : H226 引火性の液体及び蒸気
 H302 飲み込むと有害
 H315 皮膚刺激
 H319 強い目刺激
 H335 呼吸器への刺激のおそれ
 H336 眠気やめまいのおそれ
 H351 発がんのおそれの疑い
 H360 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
 H370 中枢神経系、呼吸器系、腎臓、肝臓の障害
 H372 長期にわたる、または反復暴露による中枢神経系、呼吸器系、腎臓、肝臓の障害
 H373 長期にわたる、または反復暴露による皮膚、血液の障害のおそれ
 H400 蚕、蜜蜂、水生生物に非常に強い毒性

注意書き :

- [一般的]
 [安全対策]
- ・使用前にラベルをよく読むこと。
 - ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 - ・容器を密栓しておくこと。
 - ・熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。
 - ・容器を接地する/アースをとること。
 - ・防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。
 - ・火花を発生させない工具を使用すること。
 - ・静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 - ・保護眼鏡、保護面、保護委、保護手袋を着用すること。
 - ・ミスト/蒸気の吸入を避けること。
 - ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 - ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙しないこと。
 - ・取扱い後はよく手を洗うこと。
 - ・環境への放出を避けること。
- [応急措置]
- ・火災の場合、消火するために水、噴霧水、泡消火剤、乾燥砂を使用すること。
 - ・飲み込んだ場合、口をすすぎ、気分が悪い時は医師に連絡すること。
 - ・皮膚についた場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
 - ・皮膚刺激が生じた場合、医者診断/手当を受けること。
 - ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 - ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 - ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。
 - ・暴露した場合、医師に連絡すること。
 - ・漏出物を回収すること。
- [保管]
- ・容器を密栓し食品と区別して、直射日光の当たらない涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。
- [廃棄]
- ・内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物
 化学名【一般名】： O, O-ジメチル-O-(3-メチル-4-ニトロフェニル)チオホスフェート【フェニトロチオン、MEP】
 成分及び含有量： フェニトロチオン 15.0%
 有機溶剤、樹脂、乳化剤等 85.0%

官報公示整理番号：化 審 法：(3) - 2 6 1 6 (フェニトロチオン)
 安 衛 法：4 - (9) - 2 3 2 (フェニトロチオン)

危険有害成分情報：

危険有害成分	PRTR 法	安衛法 通知対象	毒劇法	CAS 番号	含有量
フェニトロチオン	該当	該当	非該当	122-14-5	約 15%
キシレン	該当	該当	劇物	1330-20-7	約 34%
トルエン	該当	該当	劇物	108-88-3	約 2%
メチルナフタリン	該当	該当	非該当	1321-94-4	約 34%

4. 応急措置

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：皮膚刺激が生じた場合や気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師の診断/手当てを受けること。吐かせないこと。
 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい体制で休息させること。
 体を毛布などで覆い保温すること。

もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。

暴露した場合：医師に連絡すること。

医師に対する特別な注意事項：本剤の解毒剤としては、硫酸アトロピン製剤及び PAM 製剤が有効であると報告されている。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：水、噴霧水、泡消火剤、乾燥砂

使ってはならない消火剤：棒状放水

特有の危険有害性：外部火災の熱によって、爆発的に分解するおそれがある。

消火作業中に爆発するおそれがある。

混触危険物質（「10. 安定性及び反応性」参照）に留意して、適切な冷却手段にて容器を冷却する。

燃焼ガスおよび分解ガスには、刺激性、腐食性、毒性のガスが含まれるおそれがある。

消化しても十分冷却されていないと、再度発火するおそれがある。

火災の過熱によって、容器が爆発するおそれがある場合は、安全な距離を確保して消火活動を行う。

特有の消火方法：消火活動中に過熱された容器が爆発するおそれがある場合には退避する。
 火災発生場所から関係者以外を遠ざける。

危険なくできる時は、燃焼の供給源を速やかに断つ。

移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

容器、周囲の設備等に散水して冷却する。

消火作業の際にはガスを吸い込まないように呼吸用保護具を着用し、風上

の安全な場所から消火作業をする。
 容器の移動の際は、衝撃や摩擦を与えないこと。
 消火を行う者の保護：適切な全身防護衣および空気式呼吸器を着用する。
 防護面、ヘルメット、手袋を含む耐炎性防火服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
 漏出した場所の周辺にロープを張る等して、関係者以外の立ち入りを禁止する。
 作業の際は適切な保護具を着用し、漏出物との接触及び蒸気、ミストの吸入を避ける。
 風下の人を退避させ、風上から作業する。

環境に対する注意事項
 : 河川等に排出され、環境に影響が出ないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
 : 少量の場合、ウェスなどでふき取る。
 大量の場合、周囲に広がらないよう盛土などで囲い、漏出液を密閉できる容器にできる限り集め、残液を土、砂、珪藻土、おがくず等の不活性吸収剤に吸着させ、回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
 技術的対策 : 使用するに当たって、ラベルをよく読み、記載事項以外の使用はしない。
 取扱いは換気のよい場所で行う。
 使用中、禁煙。点火源、着火源に近づけない。
 適切な保護具を着用する。
 関係法規に準じて作業する。静電気対策を講じる。
 汚染された保護衣は、洗浄せずに作業場から出さない。

安全取扱い注意事項：混触危険物質（「10. 安定性及び反応性」参照）から離しておく。

衛生対策 : 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。
 眼や口に入れない、また皮膚に付けない。
 休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取り扱い後に手、顔等をよく洗う。
 汚染された保護具を持ち込まない。

保管 : 直射日光を避け、熱源から離して保管する。
 容器は完全密閉して、換気のよい一定の場所を定めて保管する。
 耐火構造、危険物施設に保管する。
 消防法令に従って保管する。
 食品などとは区別して保管する。
 混触危険物質（「10. 安定性及び反応性」参照）から離しておく。

8. 曝露防止措置および保護措置

成分 CAS 番号	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ACGIH
フェニトチオン 122-14-5	—	1mg/m ³	—
キシレン 1330-20-7	50ppm	50ppm	TWA 100ppm STEL 150ppm
トルエン 108-88-3	20ppm	50ppm	TWA 20ppm

設備対策：屋内で取り扱う場合には、作業場の空気を汚染しないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化または全体換気を適正に行う。

取り扱う場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具：呼吸用保護具；保護マスク

緊急時および漏出時の措置では、空気呼吸器または循環式酸素呼吸器を着用する。

保護眼鏡：側板付き普通眼鏡型、またはゴーグル型保護眼鏡

保護手袋：不浸透性手袋

保護衣：不浸透性防除衣

9. 物理的および化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 淡黄色
臭い	: 特異臭あり
融点／凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	: データなし
可燃性	: 引火性の液体及び蒸気
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	上限：データなし 下限：データなし
引火点	: 35.5 (タグ密閉式)
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	水：データなし 溶媒：データなし
<i>n</i> -オクタノール/水分配係数 (log 値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性および反応性

反応性	: 知見なし
化学的安定性	: 通常の手扱いにおいては安定。
危険有害反応可能性	: 熱、化学反応、摩擦、または打撃によって分解が始まり、急激な温度上昇と圧力上昇をもたらすおそれがある。 加熱されると分解して、容器の破裂、及び火災や爆発に至るおそれがある。 蒸気及びミストは、空気と爆発性混合気を形成するおそれがある。
避けるべき条件	: 加熱、着火源、火花、静電気放電、機械的衝撃
混触危険物質	: 酸、塩基、酸化剤
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素、二酸化炭素、炭化水素、すす、窒素酸化物、アンモニア、硫黄酸化物、リン酸化物など

1 1. 有害性情報

急性経口 LD₅₀ : フェニトロチオン 50%製剤において、1900 mg/kg (ラット)、3000 mg/kg (マウス)。本製品のその他の成分にはこれを超えるものがないため、本製品を区分 4 とした。

急性経皮 LD₅₀ : フェニトロチオン 50%製剤において区分に該当せず、本製品のその他の成分においても区分に該当しないため、区分に該当しないとした。

皮膚腐食性/刺激性 : 皮膚刺激性区分 2 の成分をカットオフ値以上含むため、区分 2 とした。

眼に対する重篤な損傷性/刺激性

: 眼刺激性区分 2A の成分をカットオフ値以上含むため、区分 2A とした。

皮膚感作性 : フェニトロチオン 50%製剤において陰性であり、その他の成分においても区分に該当しないことから、区分に該当しないとした。

変異原性 : データ不足のため分類できない。

発がん性 : 区分 2 の成分をカットオフ値以上含むため、区分 2 とした。

生殖毒性 : 区分 1A のトルエンをカットオフ値以上含むため、区分 1A とした。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

: 以下の成分をカットオフ値以上含む。

トルエン 中枢神経系の障害 (区分 1)

呼吸器への刺激のおそれ、眠気またはめまいのおそれ (区分 3)

キシレン 中枢神経系、呼吸器系、肝臓、腎臓の障害 (区分 1)

眠気またはめまいのおそれ (区分 3)

メチルナフタリン

呼吸器への刺激のおそれ (区分 3)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

: 以下の成分をカットオフ値以上含む。

トルエン 長期または反復暴露による中枢神経系、腎臓の障害 (区分 1)

キシレン 長期または反復暴露による中枢神経系、呼吸器系の障害 (区分 1)

メチルナフタリン

長期または反復暴露による肝臓、中枢神経系、呼吸器系の障害 (区分 1)

その他の成分

長期または反復暴露による皮膚、血液への障害のおそれ (区分 2)

1 2. 環境影響情報

水性生物急性毒性 : コイ LC₅₀(96hr) ; 13mg/L

オオミジンコ EC₅₀(48hr) ; 0.0072mg/L

緑藻類 ErC₅₀(0-72) ; 6.8~9.4mg/L

残留性・分解性 : 知見なし

生体蓄積性 : 知見なし

土壌中の移動性 : 知見なし

オゾン層への有害性 : 知見なし

1 3. 廃棄上の注意

都道府県知事等の認可を受けた産業廃棄物処理業者に、内容を明確にして処理を委託する。

使用後の空き容器は、他の用途に使用しない。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連番号 : 1993 (その他の引火性液体)
 国連分類 : クラス3 (引火性液体)
 容器等級 : III
 海洋汚染物質 : 該当
 緊急時応急措置指針番号 : 128

国内規制

陸上輸送 : 道路法等に定められている輸送方法に従う。
 海上輸送 : 船舶安全法に定められている輸送方法に従う。
 航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
 火気を近付けない。
 容器が破損しないよう、丁寧に扱う。
 荷崩れや落下事故を起こさないよう、荷造りを十分にした上で積み込む。
 水濡れを避け、直射日光が当たらないようにする。
 車両、船舶などには保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具等を備えておく。

1 5. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第14372号
 適用作物、適用病害虫、使用方法・回数を遵守すること。
 消防法 : 危険物第四類第二石油類、水溶性、危険等級III
 毒物及び劇物取締法 : 非該当
 労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険有害物 (第57条施行令第18条)
 フェニトロチオン、キシレン、トルエン、メチルナフタリン
 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)
 : 第一種指定化学物質
 フェニトロチオン、キシレン、トルエン、メチルナフタリン
 化審法 : 第2条第5項 優先評価化学物質
 キシレン、トルエン
 船舶安全法 : 危規則第2,3条危険物告示別表第1 引火性液体類
 航空法 : 施行規則第194条危険物告示別表第1 引火性液体類
 水質汚濁防止法 : 指定物質 法第2条 第4高、施行令第3条の3
 フェニトロチオン、キシレン
 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : 特別管理産業廃棄物に準拠する。

1 6. その他の情報

記載内容についての問い合わせ先 : TEL 075-681-9526
 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。
 この製品安全データシートは、当社の製品を適正にご使用戴くために必要なものです。
 注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の実施を対象としたものです。
 本製品はこの安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取扱ってください。
 ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報及びメーカー所有の知見によるものですが、
 これらのデータや評価は、いかなる保障をするものではありません。また、法令の改正及び新
 しい知見に基づいて改訂されることがあります。